

幕府の政治と人々の暮らし () 時代 #7 名前 ()

「鎖国への道」「鎖国のもとでの交流」 教科書144～147 資料集82～83

めあて

《大事ポイント！鎖国って何！？》

◎貿易は大事だけど、キリスト教信者が増えると都合が悪いのだ…

江戸時代の初めごろ、スペインやポルトガルの貿易船がさかんに日本を訪れるようになり、宣教師たちの活動によって、キリスト教信者の数が ()。最初は、貿易の利益を考えて、キリスト教を許していたが、信者たちが団結して幕府の命令をきかなくなることをおそれて、キリスト教を () した。

→「禁止なんて、ひどい！（怒）あと、年貢も辛い！（泣）」ということで、() 一揆という事件が起こる…

◎キリスト教を広めない国とだけ、貿易するのだ！

幕府は、貿易の相手を、キリスト教を広めるおそれのない () と () に限り、貿易港も () だけとした。このような状態を () とよぶ。こうして、外国の情報や貿易の利益は () するようになった。

→「かくれキリシタン」はだめ！キリスト教信者の取りしまりの方法は、()

【考える】鎖国は日本にどのような影響を与えたと思いますか？

--

◎（実は…）鎖国をしていたけれど、いくつかの地域では、他の国や地域との交流が行われていた。

朝鮮	対馬藩…
沖縄 (琉球王国)	薩摩藩…
北海道 (蝦夷地)	松前藩…

【まとめる】江戸幕府は、どのようにして全国を治めていったのか、自分の言葉でまとめてみましょう。

--